



南部町立南部中学校 学校だより 第6号

# チーム南部中

令和元年 6月13日(木)

校長 望月和彦

## 峡南地区総合体育大会



6月6日(木)と8日(土)に峡南地区総合体育大会が行われました。この大会は、県大会、関東大会、全国大会につながる中学校の運動部にとって最大の大会であり、特に3年生にとっては3年間の部活動の集大成となる大会でした。

私は、アルカディアの会場長を任されていたため、全ての会場に応援に行くことはできませんでしたが、いくつかの会場で選手たちの熱い戦いを応援することができました。今までの練習で鍛えてきた体力や技術、精神力を使って全力でプレーする選手の姿、その選手を一生懸命応援するチームメートや応援団の姿に感動させられる場面がいくつもありました。がんばった全てのチームと選手に勝利の喜びを味わってほしいのですが、勝利の女神はどちらかのチームにしか微笑みません。では、勝敗を決める要因は何でしょう。それまでの日々の練習や活動の中で個人やチームが培ってきた「力」「技」「心」「チームワーク」などがあるでしょう。



しかし、もう一つ「時の運」もあると思います。例えば、今回、殿原球場で行われた野球の決勝戦は、私の目にはどちらかが勝ってもおかしくない試合に見えました。チームの力の差だけでなく、目に見えない何かの力が働いて南部中に勝利がもたらされたような気がします。幸運にも勝利を手にして次の県大会に出場できるチームや選手は、新たなチャンスが与えられたのですから、負けたチームや選手のみまでさらにチーム力を高め、南部中学校の代表として、峡南地区の代表として誇れるような戦いをしてくれることを期待しています。残念ながら、今回の地区総体で中学校の部活動を引退した選手もいました。中学校の部活動を通して、学んだこと、身についたこと、得られたものを自分自身の宝として、次なる目標を定めながらこれからの生活に活かしてほしいです。

峡南地区総体での南部中学校の結果は次のとおりです。たくさんの保護者やご家族の方々の応援ありがとうございました。

野 球	Aパート決勝で六郷中に10回特別延長7-3で勝利し、「Aパート優勝」→県総体へ
男子バレーボール	市川中に勝利し、三珠中には選手権での敗退をバネに勝利「優勝」→県総体へ

女子バレーボール	予選リーグで三珠中、身延中に勝利し、決勝トーナメントで増穂中に勝利するも、決勝で市川中に1-2で惜敗。「準優勝」→県総体へ
男子ソフトテニス	個人戦：常田・近藤組「準優勝」、小倉隆・小倉康「ベスト8」→県選手権大会へ 団体戦：予選リーグで3勝し、決勝トーナメントの準決勝で六郷中に勝利、決勝で増穂中に1-2敗退「準優勝」→県総体へ
女子ソフトテニス	個人戦：2組がベスト16に残り代表決定戦に出場するも敗退。 団体戦：予選リーグ1勝1敗で決勝トーナメントへ。準決勝で鯉沢中に敗退、代表決定戦で三珠中に2-0で勝利「第3位」→県総体へ
男子バスケットボール	増穂中に敗退。市川中には第3ピリオドまでリードするも惜敗。2敗
女子バスケットボール	増穂中に5点差、市川中に4点差とともに惜敗。2敗。

## 吹奏楽部による地域貢献「訪問演奏会」

例年、本校の吹奏楽部は地域の福祉施設を訪問し、演奏会を開いています。運動部の生徒が地区総体に出かけた6月6日（木）の午後、吹奏楽部24名と顧問の小池教諭、飯島教諭は、グループホームとデイサービス事業をしている「百葉南部の郷」に出かけ、利用者や職員の方々に演奏を披露しました。この日のために練習してきた「きよしのズンドコ節」「ふるさと」「ゆうやけこやけ」など全8曲を演奏しました。職員や利用者の方々からは「毎年とても楽しみにしています。また、来てください。」という言葉をいただき、参加した生徒たちも「喜んでもらえて楽しかった。」と話していました。

吹奏楽部による訪問演奏会は、「地域にとともにある学校（コミュニティ・スクール）」として、中学生が地域に貢献する大切な行事になっています。吹奏楽部では、他の福祉施設等からも要請があれば、日程や場所等を検討し、可能な場合は訪問演奏会を実施したいと考えています。



## ソロコンサート

6月1日（土）に山梨県吹奏楽連盟主催の「第22回山梨県管・打楽器ソロコンサート」が双葉ふれあい文化館で開催されました。本校からは望月夏海さんがトランペットのソロで、稲葉希子さんと望月芹菜さんがトロンボーンデュエットで出場しました。私は本番の演奏を聴くことはできませんでしたが、前日の朝、全校生徒とともにプレ演奏を聴かせてもらいました。夏海さんが演奏する「糸」、希子さんと芹菜さんが演奏する「アンダー・ザ・シー」は、蒙軒ホールに心地よく響き、清々しい朝の音楽を全校で楽しむことができました。顧問の話によると、コンサート本番での3人は、プレ演奏会での経験を活かして、緊張しながらも練習の成果を十分に発揮することができたそうです。楽器の演奏ばかりでなく、大勢の人の前で演奏、演技、演説、弁論などさまざまな発表をする場面は、子どもたちの力を伸ばす大切な機会です。こうした機会を学校生活の中でもたくさん設けてあげたいです。

